
赤潮情報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
 令和元年5月10日

鹿児島湾 赤潮情報 No.2

[1]5月10日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

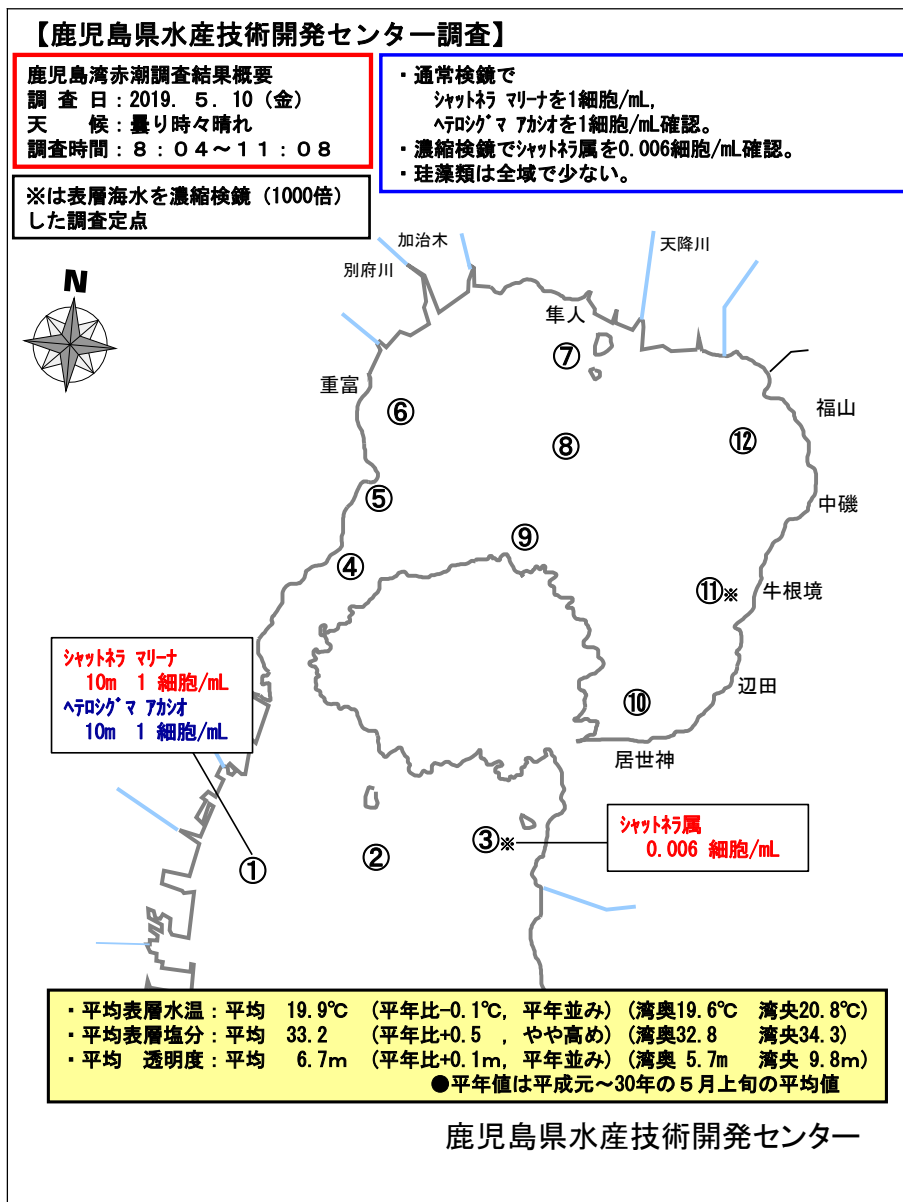
有害種であるシャットネラ マリーナ及びヘテロシグマ アカシオが、通常検鏡により調査定点①で各1細胞/mL確認されました。また、濃縮検鏡によりシャットネラ属が調査定点③で0.006細胞/mL確認されました。

珪藻類は全域で少ない状況でした。

(2) 海況

平年値と比べ、表層水温は平年並みで湾奥部で18.9~19.9℃、湾中央部で20.4~21.1℃。塩分はやや高めで31.9~34.4、透明度は平年並みで5.0~11.0mとなっています。

水温：平均 19.9℃ 湾奥部 19.6℃ 湾中央部 20.8℃
 塩分：平均 33.2 湾奥部 32.8 湾中央部 34.3
 透明度：平均 6.7m 湾奥部 5.7m 湾中央部 9.8m
 (平年値は平成元年~30年の5月上旬の平均値)



[2] 今後の赤潮発生の予想

水温の上昇に伴い、プラソトコの増殖が活発になる赤潮シーズンに入っており、競合種である珪藻類は少ない状況であることから今後有害種が増殖する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、注意をお願いします。

(次回調査は5月下旬を予定)

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

